



令和5年度版

アクアマリンふくしま

学校利用ガイド

様々な学習プログラムを通して
海の生き物のおもしろさや不思議さを
体験してみませんか?

ガ
メ
~

新型コロナウィルス感染症の
発生状況により、内容が変更に
なることがあります。

館内での学習

アクアマリンふくしまの基本理念「海を通して人と地球の未来を考える」に基づき、子どもたちが「自然への扉」を開く体験学習の場として、さまざまな学習プログラムを提供します。

館内学習

アクアマリンふくしまの施設や展示資料を活用して、学校のねらいに応じた学習を提供します。

実施・募集期間

通年

対象

全国の小中学校及び特別支援学校、高等学校、大学等

申し込み方法

学習企画営業部(TEL 0246-73-2539)へ電話でお申し込みください。

※できるだけ早目にご予約ください。(4、5、9、10月は毎年集中します)

その他

館内見学の時間を1時間半程度確保した上でお申し込みください。

学習プログラム(例)

プログラム	活動内容・ねらい	活動場所	所要時間
アクアマリンふくしまの見どころ紹介(ガイドンス) ※オンライン学習対応可	アクアマリンふくしまの展示概要を紹介します。水族館の見学前に受講すると観察のポイントが明確になり効果的です。	研修室	約20分
命をいただこう	自分で魚を釣って食べる活動を通して、命の大切さや感謝の心を学ぶことができます。 【魚代:1匹150円】	えっぐ釣り堀	約60分
海岸の生き物タッチ	海岸の生き物を観察したりさわったりする活動を通して、生息環境に適応した体のつくりや生きる工夫を学ぶことができます。 【4~10月】	蛇の目ビーチ	約60分
つかまえよう、川の生き物	BIOBIOかっぱの里の小川に生息する生き物を探集・観察する活動を通して、生息環境や体のつくりなどを学ぶことができます。 【4~10月】	BIOBIO かっぱの里	約60分
きれいな海と生き物を守ろう	海洋プラスチックごみの現状と環境や生物に及ぼす問題について紹介し、環境保全の大切さを学ぶことができます。	研修室	約40分
守ろう! 身近な 生き物たち	外来生物や絶滅危惧種などの紹介を通して、生き物と環境の関わりについて学ぶことができます。	研修室	約30分
魚たちの生きる工夫	海の中で擬態する生き物や共生する生き物などの紹介を通して、生き物たちが身を守る工夫について学ぶことができます。	研修室	約30分
生き物の赤ちゃん	アクアマリンふくしまにいる生き物の赤ちゃんなどの紹介を通して、生き物の生まれた時の様子や成長の仕方などを学ぶことができます。	研修室	約30分
飼育員のお仕事紹介	アクアマリンふくしまで働く飼育員の仕事についての紹介を通して、その工夫や努力を知ることができます。また、将来の職業観についても学ぶことができます。	研修室	約30分
獣医さんのお仕事、教えて!	アクアマリンふくしまで働く獣医の仕事について紹介し、生き物の命を守ることの苦労や大切さを学ぶことができます。	研修室	約40分
震災学習プログラム	東日本大震災でのアクアマリンふくしまの被害状況や復興までの道のりなど、映像を交えて紹介します。	研修室	約40分



命をいただこう(釣り)

職場体験・ジュニアインターンシップ

総合的な学習の時間や、キャリア教育・進路指導の一環として実施する職場体験の受け入れを行っています。将来水族館の飼育員になりたい生徒、海の生き物に興味がある生徒が水族館の様々な仕事を体験することで、職業観・勤労観を育むことができます。アクアマリンふくしまでの職場体験・ジュニアインターンシップを通して、将来の夢に一步近づいてみませんか?

実施期間

通年(ただし、当館の繁忙期を除く平日に限る)

対象

中学校・高等学校の生徒

申し込み方法

常時、受け付けています。実施希望日の1か月前までに電話でお問い合わせください。

	中学生	高校生
時間	1日間(8:30~15:00)	3日間(8:30~15:00)
人数	1日3名まで	1回3名まで
内容	軽微な飼育業務及び館内業務	軽微な飼育業務及び館内業務
申し込み手順	①電話にて受け入れ可否を決定 ②校長名の依頼文書と入館料免除申請書を、実施日10日前までに提出	①電話にて日程の相談 ②申込書を作成し提出 ③申込書をもとに選考し、受け入れ可否を決定 ④校長名の依頼文書を提出

職場体験(中学校) 体験活動例

時間	体験内容の例
8:15	集合(メイントート)
8:30~11:30	軽微な飼育業務体験(測温、給餌、水槽掃除など)
11:30~12:30	昼食 休憩
12:30~14:30	館内業務体験(教育普及活動補助、環境整備など)
14:30~15:00	まとめ 日誌記入 解散



命をいただこう釣り体験補助



蛇の目ビーチ清掃



命をいただこう体験補助



給餌体験

※所要時間は人数によって変動あり。



…SDGsとの関連

研修室の収容人数

マリンシアター…(200名程度) アクアルーム1…(20名程度) アクアルーム2…(40名程度)

学校での学習

■ 移動水族館

当館が所有する移動水族館専用トラック(アクアラバン)が、様々な生き物や資料を持って学校に伺います。移動水族館では、福島県沿岸に生息する生き物を手にとって観察することができるタッチプールや、水生生物の剥製、標本などに触ることができるハンズオンなど、子どもたちの興味を引く展示を用意しています。海洋ごみの現状や持続可能な海洋資源のあり方についても学べます。

■ 対象

福島県内(いわき市を除く)の小中学校及び特別支援学校

■ 実施日及び開催地区

- 第1回：6月20日(火)～6月22日(木) 県北
- 第2回：7月4日(火)～7月6日(木) 会津・南会津
- 第3回：8月29日(火)～8月31日(木) 県南・県中
- 第4回：10月3日(火)～10月5日(木) 相双

■ 申し込み期間

4月3日～4月28日

■ 開催に必要な条件

- ①開催場所までアクアラバンが**通行可能**である

アクアラバン(移動水族館専用車両)

通行時・夜間駐車時

- 全長8.9m×全幅2.5m×高さ3.6m
- 車両総重量約14,000kg

開催時(ウイングが開く)

- 15m×10m程度の平坦な場所が必要。

開催場所の周辺、入口、敷地内等に急な勾配や段差、樹木の枝の張り出し等があり
進入が困難な場合は、予めご相談ください。



移動水族館専用トラック(アクアラバン)



②会場でのアクアラバンの設置及び前日の夜間駐車が可能であること。

③開催期間中及び夜間駐車中の電源が確保できること。(15A以上の回線を1回線使用)

④ハンズオンコーナー用の会場が準備できること。

●体育館もしくは普通教室程度の広さ。(タッチプールの開催場所と近い1階が望ましい)

●長テーブルを12台借用。

■ 申し込み方法

各学校に送付した移動水族館募集要項をご覧ください。(ホームページからもダウンロードできます。)



タッチプール



ハンズオン



海洋ごみの話

■ ゲストティーチャー

福島県内の学校に当館の職員が伺い、水族館ならではの授業をします。水生生物や自然環境に関するレクチャー、実験や観察、調査の支援など、学校の教育的ニーズにお応えしながら対応いたします。“子ども達が自分から「自然への扉」を開く”そのお手伝いをします。オンラインの実施も受け付けております。

■ 実施期間

通年

■ 対象

県内の学校及び教育施設等

■ 申し込み手順

- ①実施希望日の1か月前までに電話で連絡する。
- ②日程調整後、申請書を提出する。

■ 昨年度実施例

学年	教科	タイトル	内容
小学校 低学年	生活	生き物の生きる工夫	生き物たちが命を守る工夫について、映像を見たり実物を観察したりする。
小学校 高学年	社会	わたしたちの生活と食料文化	福島県やいわき市の水産業の特色や、持続可能な水産業資源の利用などについて学ぶ。
小学校 高学年	理科	生き物の体のつくり	海の生き物の特徴や体のつくりについて、実物やはく製に触ながら学ぶ。
中学校	総合	飼育員になるまで	アクアマリンふくしまの飼育員から、水族館で働くために必要な学習や資格などについての話を聞く。
小・中 全学年	総合学活	環境学習	海洋プラスチックごみの現状と環境や生物に及ぼす問題についての紹介を通して、環境保全の大切さを学ぶ。

※他の授業例は、当館ホームページ(<https://www.aquamarine.or.jp/education/guest-teacher/>)をご覧ください。

■ その他

- ①申請書は、当館ホームページ(<https://www.aquamarine.or.jp/education/guest-teacher/>)よりダウンロードしてください。
- ②授業内容によっては、材料等の費用を負担していただくことがあります。
- ③繁忙期や、館内学習等と日程が重なる場合は対応できないことがあります。



環境学習



飼育員になるまで



生き物の生きる工夫

先生方の研修について

■ 教員セミナー

福島県内の小中学校や特別支援学校で活躍されている教員の皆様を対象としたセミナーを夏休み期間中に開催します。専門職員の講話や館内学習プログラムの体験などを通して、海洋生物に関する教養を深めたり学校行事等で来館する際の参考にしたりと、研修の場としてご活用ください。

■ 開催日

8月予定

■ 対象

県内の小中学校教員及び特別支援教育諸学校教員

■ 内容及び申し込み方法

各学校に6月頃に送る募集要項をご覧ください。(ホームページからもダウンロードできます。)



令和2年度教員セミナー「ビオトープで水生生物を学ぼう! ~ヤゴの採集と飼育~」



令和3年度教員セミナー「福島県の漁業を学ぼう! ~魚市場から食卓まで~」



令和4年度教員セミナー「福島県の外来生物を知ろう! ~ウチダザリガニの脅威~」



入館料免除申請について

館内学習を希望する場合は、先に電話にてご予約ください。

1 以下の手順で減免申請の手続きを行ってください。

●当館ホームページより減免申請のページに進み、「減免受付登録はこちる」をクリックする。



●申請者、入館目的等の各項目を入力し、「確認画面へ」をクリックする。



●確認画面で内容に間違いなければ、「送信」をクリックする。

2 「送信」をクリック後、入館料免除申請登録終了の画面に変わりますので、「**入館料免除申請書.PDF**」をクリックして、申請書を印刷して下さい。(右図参照)

3 印刷した申請書に公印を押し、**来館10日前までに**当館(入館料免除申請係宛)に郵送してください。

受付番号: B2202612390
第1号様式 (第2条関係)
公益財団法人ふくしま海洋科学館理事長
住所又は所在地 〒970-8026 福島県いわき市小名浜字辰巳町50
申請者
学校又は機関名 アクアマリンふくしま
代表者の職・氏名 校長 摺堀 真鈴
印

年 月 日

入館料免除申請書

次の理由により入館料を免除してください。
入館施設 アクアマリンふくしま
入館目的 (具体的な活動や事業の内容) 修学旅行 (サンプル)
入館日時 2017年02月15日 (水) 12時45分

一般	0人	園児又は児童	0人
大学生	0人		
高校生	0人		
中学生	0人	引率者	10人
小学生	40人	合計	50人

入館者の区分及び人数
免除申請の理由 学校教育に基づく活動のため
引率者の代表者 職 校長 氏名 摺堀 真鈴
利用交通機関 バス 2台
連絡先 職 1学年主任 氏名 福島 健
電話 0246732525 FAX 0246732526

(注) 1 「入館者の区分及び人数」の欄の「高校生」、「中学生」及び「小学生」には、
義務学校等の「高等部」、「中等部」及び「小学部」を含みます。
2 同行する保護者(父兄の方等)がある場合は、人数を「入館目的」の欄に
記載してください。

*承認後、「入館料免除承認書の送付について」「入館料免除承認書」「入館料免除承認内容変更申出書」の3点を学校側へ送付します。来館当日に「入館料免除承認書」を必ず御持参ください。
(入館料免除申請についてご不明な点は 0246-73-2525まで)

お問い合わせ先

公益財団法人ふくしま海洋科学館

アクアマリンふくしま 学習企画営業部

〒971-8101 いわき市小名浜字辰巳町50 TEL.0246-73-2539 FAX.0246-73-2526

ホームページ: [アクアマリンふくしま](https://www.aquamarine.or.jp) 検索 <https://www.aquamarine.or.jp>

*入館料免除申請書への入力、印刷がホームページ上でできます。ご活用ください。



サンゴ礁の海 (2F)

環境水族館



アクアマリンふくしま

福島県いわき市小名浜字辰巳町50 Tel. 0246-73-2525(代表)

アクアマリンふくしま

検索

<https://www.aquamarine.or.jp>

●公益財団法人ふくしま海洋科学館 理事長 古川 健 ●ふくしま海洋科学館 ●展示業 ●動物取扱責任者／平治隆
●登録番号／福島県18い保展示第3号 ●登録年月日／2006年11月30日 ●登録の有効期限の末日／2026年11月29日

船の科学館

海の学び

ミュージアム

サポート

Supported by

